

2021 年度
京都精華大学大学院
芸術研究科 博士後期課程

入学試験

外国語(日本語)

- *試験時間 13:00～14:00
- *試験開始後30分以内は退出できません。
- *辞書の持ち込み可。ただし電子辞書の持ち込みは不可です。
- *問題用紙は試験終了後に回収します。
- *解答は解答用紙に記入すること

座席番号	
------	--

以下は、*Art since 1900* (邦訳 2019 年)のイントロダクションの一節である。

ここ 100 年ほどのあいだ、私的な面、公的な面の両方で、アートやその本性、機能をめぐる議論は何度も大きな転回を遂げてきた。これらの転回は、アート以外のさまざまな歴史の観点からも考える必要がある。新しい学問領域がいくつも出現した結果、新たな芸術表現のモードと平行して、文化生産に対する新たな考え方、語り方が存在するようになっているのである。

わたしたちが以下の方法論的イントロダクションを書いたのは、本書のプロジェクトを全体として支えるさまざまに異なった慣習、アプローチ、知のプロジェクトを同定し分析するためである。意図したのは、本書の随所に見られる多様な理論的枠組みを紹介すること、またそれらの枠組みが各項目で俎上にのる作品や実践とどう関係しているのかを説明することだ。

出典 ハル・フォスター、ロザリンド・E・クラウス、イヴ-アラン・ボワ、ベンジャミン・H・D・ブークロー、デイヴィッド・ジョーズリット：著『ART SINCE 1900 図鑑 1900年以後の芸術』（尾崎信一郎，金井直，小西信之，近藤学：日本語版編集委員）2019年、東京書籍

設問（1） 下線部を英訳せよ。

設問（2） 第2段落で、20世紀の「多様な理論的な枠組み」について言及がある。

この時代の芸術理論について、日本語であなたの意見を述べよ。